

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/> (～はキ-ボ-ドの@の上の^をshiftで変換。)
 保護者の皆様いろんな情報を速報性を持って伝えたいとの思いからホームページを作成しておりますので御活用下さい

今月の小児科診予定

- 1月8日(火)、1月22日(火)は午後から大学診察のため時間外対応できません
- 1月14日(成人の日)は9時-12時まで時間外対応します
- 1月29日(火)午後、30日(水)は私用のため時間外対応できません

連載！赤ちゃんの処置

室温と服装

寒い季節になってきました。あかちゃんにとって快適な室温や服装について今月号はお話します。

1 室温

室温については成人が快適な温度であれば赤ちゃんも快適と考えていただいて結構です。すなわち冬は15度あれば十分とされています。部屋全体を温度コントロールするのがよく、エアコンも使って頂いて結構です。しかし次のことに注意して下さい。

- a 冷気が床を這いますので、赤ちゃんの高さになって調節して下さい
- b 風があたることは避けて下さい(冷暖房の気流に注意)
- c 直射日光のあたる場所は避けて下さい(窓際はだめ)
- d ガス、石油ヒーターでは直接温風があたらないようにし、換気を十分にして下さい(できれば電気が望ましい)
- e 電気では直接熱線があたらないようにしてください。

2 湿度

50%が望ましいとされています。加湿器や除湿器も使用していただいて結構ですが、カビや細菌が繁殖することがあります。こまめに清掃(特にフィルター)をして下さい。

3 服装

母親と同じ枚数を基本にして下さい。ただ、夜は知らないうちにふとんをけったりして薄着になってしまいます。寝袋タイプのふとんや少し厚着にして寝かせるようにしましょう。

今週の顔



一哉くんはいい顔、瑞希ちゃん、緊張気味かな

バックナンバー

(申し出ただけであればコピーいたします)

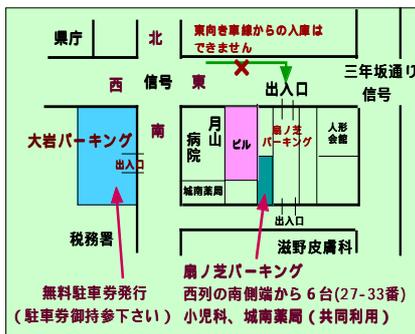
- 第1号 インフルエンザ予防接種
- 第2号 発熱時処置
- 第3号 熱性痙攣
- 第4号 吐き下し
- 第5号 インフルエンザ
- 第6号 喘鳴
- 第7号 喘息の予防
- 第8号 タバコを食べた
- 第9号 頭をうった
- 第10号 小児の皮膚疾患
- 第11号 夏のスキンケア
- 第12号 アトピー性皮膚炎(前編)
- 第13号 アトピー性皮膚炎(後編)
- 第14号 おっぱい
- 第15号 熱の頻度と対策
- 第16号 インフルエンザの診断と薬

日曜診について

当院小児科の日曜日診察は朝9時から12時まで是一般診察、以後午後7時まで時間外対応させて頂いております。また、予防接種についても母親支援の一環として日曜日接種も考慮しますのでお問い合わせください。

駐車場について

地図を目安に御利用下さい。病ノ芝駐車場が便利です。



ちよつとだけ快適に

従来より待合が寒いとの御指摘がありました。直接風がはいらぬよう風よけ室を新設しました。まだまだ不備な点もございませうがよろしくお願いたします。



2002年

あけましておめでとうございます。子供にとって夢のある楽しい一年になるよう微力ながらお手伝いしていく所存ですので、本年もよろしくお願いたします。

インフルエンザの合併症

今年もそろそろインフルエンザの報道を耳にするようになりまして、1月初旬現在流行ははじまっていませんが例年1月下旬には流行がみられます。インフルエンザがふつうのかぜと違うのは大規模な流行を示す(人口の百人から十人にひとりがかかる)こと、重篤な合併症があるからです。合併症のなかで子供にとって重要なのは脳炎、脳症です。この脳炎脳症については不明な点も多いのですが現在わかっていることをお話します。

インフルエンザにかかった人の1万人にひとり程度の割合で発症します。発症頻度自体は低いのですが、発症すると死に至ることが多いため問題になっています。

治療
 残念ながら決定的な治療はありません。インフルエンザ自体を予防すること、早期発見することが重要です。

早期発見
 異常におびえる、意味不明なことをしゃべる、見えないものが見える、目の焦点があわぬなどの症状がであれば、すぐに小児科を受診して下さい。

熱性けいれん?
 高熱をだすインフルエンザでは熱性けいれんという、後遺症をのこさない病気をよく合併しますが、これと脳炎、脳症とは別のものであります。しかし、判別しにくい場合もあるので疑わしい場合は入院することもあります。

犯人は解熱剤?
 小児科医が一般的に使用する解熱剤は脳炎、脳症には関係がないことが判明しています。本人の機嫌が悪ければ使用してもいいでしょう。

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております。



感染症豆知識

風疹

風疹は「三日はしか」とも呼ばれますが、はしかとは全く違う病気です。典型的には発熱と同時に赤くて小さな発疹が体中に出現し、耳の後ろのリンパ腺が腫れてきます。

治療
 特効薬はありません。発疹が消失すれば登校は可能です。

注意
 妊婦さんが罹ると胎児に大変重篤な影響がでます。風疹にかかった人は絶対に妊婦に近付かないようにしましょう。また女性は必ず風疹の予防接種を受けておきましょう。